

病虫害発生予察 7月月報

(生育概況及び病虫害の調査結果)

令和4年7月の気象表 (長野地方気象台発表)

官署等	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長野	本年	26.3	24.7	25.9	5.5	77.5	60.0	76.4	38.7	78.0
	平年	23.1	24.0	25.6	52.9	50.4	34.4	46.8	50.8	71.2
松本	本年	25.0	24.1	26.2	29.5	61.0	34.0	67.6	39.4	86.7
	平年	23.2	24.1	25.2	56.6	46.2	28.5	48.5	54.1	72.3
諏訪	本年	23.9	22.9	25.0	66.5	112.5	93.0	55.5	31.4	88.6
	平年	22.1	23.2	24.3	83.7	68.2	42.2	45.8	53.0	70.7
軽井沢	本年	20.7	19.9	22.1	78.0	99.5	72.5	47.6	27.0	73.8
	平年	19.0	20.1	21.0	72.7	63.7	55.5	38.4	44.2	56.5
飯田	本年	24.2	23.8	26.2	82.0	94.5	22.5	48.8	32.1	85.8
	平年	23.3	24.3	25.5	96.1	94.3	49.7	43.0	52.1	71.1

上旬と下旬は高気圧に覆われて日中は晴れた日が多くなったが、中旬は低気圧や前線、上空の寒気等の影響で曇りや雨の日が多くなった。また、期間を通じて午後は大気の状態が不安定となって、所々で雨や雷雨となり局地的に大雨となった日もあった。

また、上旬を中心に暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温はほとんどの地点で高くなり、1日の日最高気温は上田と立科で統計開始以来、第1位を記録した。

1 水 稲

(1) 生育概況

第1表 イネの生育状況

須坂市 (農業試験場作物部)

品種名	区分	移植後30日			移植後40日			幼穂形成期	出穂期
		主稈葉数	草丈 cm	茎数本/m ²	主稈葉数	草丈 cm	茎数本/m ²		
あきたこまち	平年	8.2	35	413	9.5	46	601	7/7	7/27
	前年	7.8	36	500	9.0	47	644	7/7	7/27
	本年	8.3	34	549	9.9	55	659	7/6	7/27
コシヒカリ	平年	8.2	39	472	9.6	50	642	7/12	8/4
	前年	8.1	39	463	9.2	47	639	7/14	8/5
	本年	8.2	37	576	9.8	57	699	7/13	8/6

移植期：2022年5月20日

平年は2015～2021年までの最大値と最小値を除いた5か年の平均値

第2表 イネの生育状況

原村 (農業試験場原村試験地)

品種名	区分	移植後40日			移植後50日			幼穂形成期	出穂期
		主稈葉数	草丈 cm	茎数本/m ²	主稈葉数	草丈 cm	茎数本/m ²		
ゆめしなの	平年	9.0	51	456	10.2	67	533	7/11	8/4
	前年	9.3	45	282	10.3	61	366	7/13	8/5
	本年	9.0	58	472	10.6	72	486	7/8	8/2

移植期：2022年5月25日

平年は2015～2021年までの最大値と最小値を除いた5ヶ年の平均値

(2) 病虫害の発生状況

①いもち病

7月上旬の巡回調査では、いもち病の発生はみられなかったが、中旬以降は各地で葉いもち発生がみられ、一部のほ場では急増した。

AMeDASデータによる葉いもち感染好適条件の判定では、6月第1半旬から7月第3半旬までの感染好適条件の出現数は平年に比べて多く、特に7月7日以降は広域に感染好適条件が出現し、常習発生地や中山間地域を中心に、葉いもちが急激に増加する恐れがあることから、7月20日付けで注意報第2号『イネいもち病』を発表し、注意を喚起した。

②紋枯病

巡回調査では、一部のほ場で発病株がみられており、発生の多いほ場もあった。

③白葉枯病・黄化萎縮病・黄萎病

巡回調査では発生はみられなかった。

④ばか苗病

巡回調査ほでは、発生はみられなかったが、その他のほ場で発生が確認されている。

⑤ヒメトビウンカ

巡回調査（ネット20回振）における捕獲頭数は、東信地域で平年値をやや上回ったが、その他の地域では平年並か平年値をやや下回った。

⑥ツマグロヨコバイ

巡回調査（ネット20回振）における成虫捕獲頭数は、全般に平年に比べて少なかった。

⑦イネドロオイムシ

巡回調査では、東信地域の一部のほ場で発生が多く、被害度が平年値を上回ったが、その他の地域では平年並か平年値をやや下回った。

⑧セジロウンカ

巡回調査（ネット20回振）における成虫の捕獲地点率は東信地域、北信地域で平年に比べて高く、成虫捕獲頭数は東信地域の一部のほ場で多かった。南信地域、中信地域では捕獲頭数は平年に比べて少なく、捕獲地点率も低かった。

⑨トビイロウンカ

巡回調査、予察灯の誘殺調査では、発生は確認されなかった。

⑩イナゴ

巡回調査（ネット20回振）では、北信地域の一部ほ場で捕獲頭数が多かったが、全般には平年に比べて少なかった。

⑪フタオビコヤガ（イネアオムシ）

巡回調査（ネット20回振）では、平年並か平年値をやや下回った。

⑫イチモンジセセリ（イネツトムシ）

千曲市における黄色粘着トラップを用いた誘殺調査では、誘殺開始時期は7月第2半旬でほぼ平年並であった（第3表）。また、第1世代成虫の発生最盛期は7月第4半旬頃とみられ、平年に比べてやや早かった。誘殺頭数は平年に比べてやや少なかった。

第3表 イチモンジセセリ成虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長（頭） 千曲市

区分	7月						8月
	1	2	3	4	5	6	
平年	0.3	2.0	11.5	15.7	22.2	14.1	8.4
本年	0	1	8	29	11	6	1

黄色粘着版1, 200cm² (20cm×20cm×3枚) 当たりの誘殺数、平年は2012年から2021年までの平均値

⑬カメムシ類

予察灯による誘殺調査（全6地点）では、誘殺頭数はほぼ平年並かやや少なかった。

7月上旬の本田すくい取り調査（ネット20回振）における捕獲地点率（調査地点のうち捕獲された地点の割合）は、東信地域、北信地域で平年値を上回ったが、他の地域は平年値を下回った。平均捕獲頭数は東信地域を除くと平年値を下回った。

7月下旬の本田すくい取り調査における捕獲地点率及び平均捕獲頭数は全地域で平年並か平年値をやや下回った。捕獲種は上旬と比べ多くなった。

第4表 巡回調査ほにおけるすくい取り調査による斑点米カメムシ類の捕獲状況（7月上旬）

地域	調査地点数	捕獲地点率 (%)		平均捕獲頭数 (頭)		種別捕獲頭数合計(頭)				
		平年	本年	平年	本年	計	アカヒゲ	アカシ	ホリハリ	アカヒメ
							ホリトリ	カスミカメ	カメムシ	リカメムシ
東信	15	28.2	53.3	0.87	0.93	14	14	0	0	0
南信	18	25.7	16.7	0.49	0.17	3	3	0	0	0
中信	20	37.8	28.6	1.24	0.43	9	9	0	0	0
北信	17	38.2	47.1	1.43	0.82	14	14	0	0	0
県全体	70	32.3	35.2	1.01	0.56	40	40	0	0	0

(注1) 調査方法：本田において、すくい取り（ネット20回振）で捕獲された斑点米カメムシ類（成虫及び幼虫）を調査

(注2) 捕獲地点率 (%)：調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合

(注3) 平均捕獲頭数：捕獲頭数計（成虫数+幼虫数）÷調査地点数

(注4) 平年：2012年～2021年の平均値

(注5) アカヒゲホリトリ：アカヒゲホリトリカスミカメ

第5表 巡回調査ほにおけるすくい取り調査による斑点米カメムシ類の捕獲状況（7月下旬）

地域	調査地点数	捕獲地点率 (%)		平均捕獲頭数 (頭)		種別捕獲頭数合計(頭)				
		平年	本年	平年	本年	計	アカヒゲ	アカシ	ホリハリ	アカヒメ
							ホリトリ	カスミカメ	カメムシ	リカメムシ
東信	15	9.8	6.7	0.18	0.07	1	1	0	0	0
南信	18	24.2	22.2	0.55	0.44	8	3	1	1	3
中信	20	28.0	23.8	0.78	0.29	6	3	0	2	1
北信	17	8.2	5.9	0.10	0.06	1	1	0	0	0
県全体	70	18.3	15.5	0.42	0.23	16	8	1	3	4

注意事項は第4表に同じ

2 りんご

(1) 生育概況

須坂市（果樹試験場）の果実肥大は、平年と比べやや小さい傾向である（第1表）。

第1表 りんごの果実肥大状況 須坂市（果樹試験場）

調査日	つがる								ふじ							
	縦径(mm,%)				横径(mm,%)				縦径(mm,%)				横径(mm,%)			
	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比
6/15	38.7	40.4	40.1	104	41.9	45.3	42.4	101	35.8	34.5	36.8	103	39.0	41.6	40.2	103
7/ 1	50.2	51.2	49.6	99	57.2	59.9	54.8	96	44.3	43.4	42.0	95	51.5	54.5	47.2	92
7/15	59.6	60.3	57.1	96	69.0	71.2	64.5	93	52.4	50.9	47.6	91	61.9	65.0	55.4	90
8/ 1	68.3	69.7	67.1	98	79.2	81.3	76.4	96	60.1	59.0	57.1	95	71.4	74.7	67.0	94
8/15	73.1	73.4	71.3	98	84.6	85.5	81.2	96	64.6	62.6	61.0	94	76.8	79.1	71.2	93

平年は2007年～2021年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

① 褐斑病

巡回調査では、東信地域で発生がみられ、平年並の発生量であった。

② 黒星病

巡回調査では、東信地域、北信地域で発生がみられ、平年並の発生量であった。

③ 斑点落葉病

巡回調査では、東信地域、北信地域で発生がみられ、平年並の発生量であった。

④ 腐らん病

巡回調査では、東信地域、中信地域、北信地域で発生がみられた。

⑤ 黒点病

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑥ キンモンホソガ

巡回調査では、東信地域、中信地域、北信地域で寄生葉（マイン）が確認され、発生量は平年並であった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ調査による誘殺頭数は、平年と比べ少なかった（第2表）。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	6月				7月						8月	
	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	101.1	96.1	41.2	23.5	98.6	143.1	257.1	249.9	213.0	133.3	226.7	359.5
前年	22.0	9.0	6.0	0.0	17.0	24.0	52.0	19.0	27.0	1.0	2.0	103.0
本年	21.0	29.0	9.0	16.0	31.0	45.0	29.0	89.0	58.0	41.0	84.0	198.0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑦ シンクイムシ類

巡回調査では、果実被害はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のモモシンクイガのフェロモントラップ調査による誘殺頭数は、平年と比べ少なかった（第3表）。

須坂市（果樹試験場）のスモモヒメシンクイのフェロモントラップ調査による誘殺頭数は、おおむね平年並であった（第4表）。

第3表 モモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	6月				7月						8月	
	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	9.5	9.7	8.7	6.1	9.8	3.5	0.9	1.4	2.8	6.7	14.9	18.6
前年	6.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	5.0	3.0	0.0	5.0
本年	1.0	1.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	2.0	0.0

平年は2012年から2021年までの平均値

第4表 スモモヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	6月				7月						8月	
	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	0.4	7.1	5.5	4.1	3.8	3.3	1.1	0.9	4.4	6.2	5.9	2.9
前年	0.0	0.0	0.0	1.0	4.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	1.0
本年	0.0	0.0	0.0	1.0	4.0	1.0	2.0	0.0	3.0	7.0	5.0	8.0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑧ハダニ類

巡回調査では、リンゴハダニ、ナミハダニの寄生が6月上旬から散見され、中信地域、北信地域で寄生密度が急増しているほ場が散見された。発生量は平年並～やや多であった。

一般管理（慣行栽培）している巡回ほ場の7月下旬の調査で、りんご32ほ場のうち26ほ場で10葉当たり平均寄生虫数が7月上旬調査数値よりも増加し、平年と比べかなり多くなった。また、平均寄生虫数が多発※した調査地点が8地点に増加した。

今後も気温が高く、ナミハダニの活動や増殖に好適な状況が継続すると発生が増加し、果樹に被害が発生する恐れがあることから、8月3日付で注意報第3号『果樹共通害虫のナミハダニ』を発表し、注意を喚起した。

(※多発とは、10葉当たり100頭以上の寄生が確認されたほ場をさす。)

⑨リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では、南信地域で新梢への被害がみられ、発生量は平年並であった。須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップによる調査では誘殺はなかった。

第4表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	6月				7月				8月			
	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

平年は2012年から2021年までの平均値

4 **なし**

(1) 生育概況

高森町（南信農業試験場）の果実肥大は、平年と比べやや大きい傾向である（第1表）。

第1表 なしの果実肥大状況（mm、%）

高森町（南信農業試験場）

品種名	区分	7月1日		7月15日		8月1日		8月15日	
		縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径
二十世紀	平年	36.4	39.4	44.5	49.1	56.5	63.9	66.5	75.8
	前年	39.4	40.7	48.3	50.4	60.2	65.0	70.5	76.7
	本年 (平年比)	38.3 (105)	40.2 (102)	48.3 (108)	51.5 (105)	61.1 (108)	66.8 (105)	71.5 (108)	78.7 (104)
幸水	平年	35.5	42.8	44.4	54.3	58.9	72.7	70.2	87.0
	前年	38.1	45.0	48.6	57.9	63.1	75.9	75.1	89.9
	本年 (平年比)	38.5 (108)	46.4 (108)	50.5 (114)	60.7 (112)	66.1 (112)	79.1 (109)	76.7 (109)	92.4 (106)
豊水	平年	38.6	42.7	47.0	52.6	60.7	69.4	60.6	76.9
	前年	40.4	44.3	49.3	55.7	63.2	71.8	61.7	78.4
	本年 (平年比)	41.8 (108)	47.1 (110)	53.6 (114)	59.0 (112)	68.3 (112)	77.0 (111)	63.5 (105)	83.6 (109)

平年は2001年から2020年までの平均値（幸水は長果枝と短果枝の平均）

(2) 病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査では、発生はみられなかった。

②黒星病

巡回調査では、南信地域で発生がみられ、発生量は平年並であった。

高森町（南信農業試験場）の調査では、殺菌剤無散布の果実の発病は、おおむね平年並であった（第2表）。

第2表 ナシ黒星病 果実の発病（%）（「幸水」殺菌剤無散布）

高森町（南信農業試験場）

区分	6月			7月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	34.3	43.8	47.9	65.0	71.5	80.0
前年	1.2	11.2	5.5	21.7	40.9	61.5
本年	38.5	51.2	57.3	66.4	81.8	—

平年は2012年から2021年までの平均値

本年は、黒星病が原因の落果が増加したため、7月15日をもって調査を終了した。

③黒斑病

巡回調査では、発生はみられなかったが、周辺ほ場での発生量は平年並であった。

高森町（南信農業試験場）のアルタナリア属菌の孢子飛散調査では、6月がピークで孢子捕捉数が多かった（第4表）。

高森町（南信農業試験場）の殺菌剤無散布の黒斑病調査では、果実及び新梢葉の発病率は6月25日から高くなり、7月は平年と比べ高い傾向であった（第5表、第6表）。

第4表 アルタナリア属菌の孢子捕捉数(個) 高森町(南信農業試験場)

区分	6月			7月						8月	
	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	30.0	23.7	21.4	21.7	18.4	9.3	11.9	10.3	15.7	15.0	14.8
前年	26.0	37.0	13.0	21.0	1.0	12.0	8.0	2.0	5.0	8.0	9.0
本年	55.0	43.0	35.0	4.0	56.0	14.0	13.0	9.0	18.0	4.0	9.0

平年は2012年から2021年までの平均値、18mm×18mm当たりの孢子数

第5表 ナシ黒斑病 果実の発病(%) (「二十世紀」殺菌剤無散布)

高森町(南信農業試験場)

区分	6月			7月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	1.8	4.2	8.3	29.8	66.8	80.7
前年	15.4	9.4	16.4	67.2	94.1	—
本年	0.9	4.0	43.8	82.7	99.6	100.0

平年は2012年から2021年までの平均値

前年は、黒斑病が原因の落果が増加し、7月15日をもって調査を終了した。

第6表 ナシ黒斑病 新梢葉の発病(%) (「二十世紀」殺菌剤無散布)

高森町(南信農業試験場)

区分	6月			7月			8月
	5日	15日	25日	5日	15日	25日	5日
平年	3.6	7.2	15.6	22.6	36.4	47.9	51.2
前年	13.2	18.9	31.6	58.2	72.9	80.0	71.9
本年	17.3	20.8	53.8	68.6	80.5	83.3	86.8

平年は2012年から2021年までの平均値

④輪紋病

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤枝幹性病害(胴枯病・枝枯病)

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑥カメムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによるクサギカメムシの誘殺はなかった。チャバネアオカメムシの誘殺頭数は、平年と比べ少なかった（第7表）。

第7表 カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

高森町(南信農業試験場)

種類	区分 半旬	7月						8月	
		1	2	3	4	5	6	1	2
クサギカ メムシ	平年	0.1	0.3	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.0
	前年	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
チャバネ アカメムシ	平年	7.3	8.9	13.8	12.7	13.4	4.3	21.6	6.1
	前年	3.0	3.0	1.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
	本年	6.0	3.0	7.0	3.0	7.0	4.0	4.0	4.0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑤ナシヒメシクイ

巡回調査では、被害果はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）でのフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年並であった（第8表）。

第8表 ナシヒメシクイのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

高森町(南信農業試験場)

区分 半旬	7月						8月	
	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	1.3	0.8	1.4	1.5	2.6	2.5	3.5	4.4
前年	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.5
本年	0.5	0.5	1.0	5.0	0.0	3.5	5.0	1.5

平年は2012年から2021年までの平均値

⑥モモシクイガ

巡回調査では、寄生はみられなかった。

南信農業試験場（高森町）のフェロモントラップ調査による誘殺頭数は、平年並であった（第9表）。

第9表 モモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）（頭）

区分	7月						8月	
	1	2	3	4	5	6	1	2
半旬	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4
前年	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
本年	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑦ハダニ類

巡回調査では、南信地域でナミハダニの寄生がみられ、全般的に平年並であった。

⑧リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる調査では、誘殺はなかった（第9表）。

第10表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

区分	7月						8月	
	1	2	3	4	5	6	1	2
半旬	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	0.0	0.0	0.2	0.4	0.4	0.5	0.2	0.3
前年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
本年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

平年は2012年から2021年までの平均値

4 **もも**

(1) 生育概況

須坂市（果樹試験場）の果実肥大は、「あかつき」は平年並～やや大きい、「川中島白桃」はやや大きい傾向である（第1表）。

第1表 ももの果実肥大状況

須坂市（果樹試験場）

品種名	調査日	縦径(mm)				横径(mm)				側径(mm)			
		平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比
あかつき	7/6	55.4	57.5	55.5	100	55.3	59.1	55.6	101	54.3	59.4	53.3	98
	7/13	59.6	61.9	59.1	99	60.3	65.4	60.2	100	60.8	67.4	58.9	97
	7/20	65.1	67.2	64.8	100	66.8	71.5	66.7	100	68.7	75.5	67.9	99
	7/27	69.5	70.7	70.4	101	72.6	76.3	74.2	102	76.3	83.0	77.7	102
	8/3	75.1	-	73.5	98	75.1	-	78.9	105	79.4	-	83.8	106
川中島白桃	7/6	51.2	55.7	56.4	110	51.5	56.8	56.1	109	48.0	53.7	51.9	108
	7/13	53.6	58.4	59.0	110	54.3	60.2	59.0	109	51.6	58.5	55.9	108
	7/20	56.9	61.6	62.7	110	58.2	64.1	63.5	109	56.3	63.4	61.5	109
	7/27	61.2	65.8	68.9	113	63.2	69.0	69.9	111	62.7	70.0	69.4	111
	8/3	65.9	71.7	72.8	110	69.0	76.0	75.1	109	69.9	78.6	76.0	109
8/10	70.7	74.4	77.4	109	74.6	79.4	81.3	109	76.5	82.1	83.7	109	

平年は「あかつき」2011年から2021年まで、「川中島白桃」2002年から2021年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①せん孔細菌病

巡回調査では、東信地域、中信地域、北信地域で、葉や果実に発病がみられたが、発生量は平年並であった。

②灰星病

巡回調査では、東信地域で発生がみられたが、発生量は平年並であった。

③黒星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

④シンクイムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年と比べやや少なかった（第2表）。

第2表 モモシクイガのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

須坂市(病害虫防除所)

区分	6月				7月				8月			
	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
半旬	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	6.6	6.1	6.2	8.0	7.1	5.2	2.7	4.9	4.3	10.5	8.7	8.0
前年	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0	1.0
本年	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑤ハマキムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑥モモハモグリガ

巡回調査では、東信地域、北信地域で被害果がみられた。

須坂市(果樹試験場)のフェロモントラップ調査による誘殺頭数は少なかった(第3表)。

第3表 モモハモグリガのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

須坂市(果樹試験場)

区分	7月						8月	
	1	2	3	4	5	6	1	2
半旬	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	124.3	115.2	178.0	74.1	28.8	118.7	251.7	167.2
前年	4.0	7.0	3.0	7.0	8.0	3.0	29.0	12.0
本年	24.0	44.0	42.0	41.0	27.0	45.0	97.0	114.0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑦ハダニ類

巡回調査では、南信地域、中信地域で寄生葉がみられ、寄生密度が高いほ場もあったが、全般的に発生量は少なかった。

6 **ぶどう**

(1) 生育概況

須坂市(果樹試験場)の果実肥大は、平年と比べ小さい傾向である(第1表)。

第1表 ぶどうの果実肥大状況

須坂市(果樹試験場)

品種名	調査日	縦径(mm、%)				横径(mm、%)			
		平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比
巨峰	7/1	18.2	21.0	16.5	91	15.7	18.3	13.8	88
	7/8	22.3	25.5	20.5	92	19.7	23.0	17.8	91
	7/15	24.5	26.6	21.8	89	22.1	24.5	19.4	88
	7/22	25.4	27.2	22.6	88	23.3	25.3	20.5	88
	7/29	26.2	28.3	22.8	87	24.5	26.8	21.3	87
	8/5	27.4	29.7	23.7	86	25.8	27.9	22.5	87

平年は2006年から2021年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①灰色かび病

巡回調査では、花穂への発病はみられなかった。

②さび病

巡回調査では、果房への発病はみられなかった。

③べと病

巡回調査では、東信地域、中信地域、北信地域で発病がみられた。

⑤黒とう病

巡回調査では、新梢及び葉への発病はみられなかった。

⑥クビアカスカシバ

小布施町(病害虫防除所)のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年並であった(第2表)。

第2表 クビアカスカシバのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

小布施町(病害虫防除所)

区分	6月				7月				8月			
	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
半旬	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	11.3	10.5	10.7	11.1	10.9	9.6	7.5	6.6	3.6	2.9	1.7	1.4
前年	11.0	8.0	30.0	30.0	17.0	21.0	17.0	16.0	14.0	9.0	2.0	0.0
本年	11.0	15.0	3.0	5.0	5.0	10.0	5.0	14.0	2.0	7.0	3.0	3.0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑦チャノキイロアザミウマ

巡回調査では、中信地域で被害葉がみられ、発生量は全般的に平年並であった。

7 かき

(1) 生育概況

高森町（南信農業試験場）の果実肥大は、平年と比べやや大きい傾向である（第2表）。

第2表 かきの果実肥大状況（mm、%） 高森町（南信農業試験場）

品種名	区分	7月15日		8月1日		8月15日	
		縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径
市田柿	平年	27.2	29.9	35.8	38.9	42.5	45.4
	前年	27.5	28.1	36.7	38.1	42.7	44.2
	本年 (平年比)	30.0 (110)	30.7 (103)	39.3 (110)	39.7 (102)	46.2 (109)	45.8 (101)

平年は2001年から2020年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査では、南信地域の3ほ場で発生がみられ、発生量は全般的に平年並であった。

②炭疽病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③円星落葉病

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）での孢子飛散は、本年は7月第2半旬から第4半旬がピークで孢子捕捉数が多かった（第3表）。

第3表 カキ円星落葉病の子のう孢子捕捉数 高森町（南信農業試験場）

区分	6月		7月					
	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	56.3	63.6	80.7	63.4	61.4	26.2	30.9	28.3
前年	31.7	50.2	119.0	43.4	136.4	11.0	13.3	20.2
本年	4.6	2.5	0.6	16.3	11.9	23.1	6.4	7.4

平年は2012年から2021年までの平均値 (18mm×18mm当たりの孢子数 (×1000個))

④カキクダアザミウマ

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤カキノヘタムシガ

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑥ハマキムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑦フジコナカイガラムシ

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、8月第1半旬までは平年と比べ少なかったが、第2半旬は平年並であった（第4表）。

第4表 フジコナカイガラムシのフェロモントラップによる誘殺消長（頭） 高森町（南信農業試験場）

区分	6月		7月						8月	
	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2
平年	1.0	1.1	0.9	3.1	19.1	39.1	62.4	46.0	31.6	15.3
前年	4.0	3.0	0.0	0.0	0.0	5.0	35.0	67.0	1.0	5.0
本年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	6.0	4.0	4.0	2.0	16.0

平年は2013年から2018年までの平均値

7 野菜・花き

(1) 病害虫の発生状況

①トマトの病害虫

巡回調査では、東信地域、南信地域の露地栽培（ジュース用トマト）ほ場で輪紋病がみられ、南信地域の施設栽培ほ場で灰色かび病がみられた。

虫害では、南信地域、中信地域の露地栽培（ジュース用トマト）ほ場でアザミウマ類、北信地域の施設栽培ほ場でオンシツコナジラミ成虫、中信地域の露地栽培（ジュース用トマト）ほ場でアブラムシ類、東信地域、南信地域、中信地域の露地栽培（ジュース用トマト）ほ場でオオタバコガ幼虫による果実への食入被害がみられた。

②きゅうりの病害虫

巡回調査では、病害はみられなかったが、北信地域の露地栽培でアザミウマ類、北信地域の施設栽培ほ場で、オンシツコナジラミ成虫の寄生がみられた。

③すいかの病害虫

巡回調査では病害はみられなかったが、南信地域、中信地域のほ場で、アブラムシ類、ハダニ類の寄生がみられた。

④アブラナ科野菜の病害虫

巡回調査では、南信地域、中信地域のキャベツ栽培ほ場の一部で軟腐病がみられた。ブロッコリー、はくさい栽培ほ場では、病害はみられなかった。

虫害では、東信地域、北信地域のキャベツ、東信地域のブロッコリー栽培ほ場の一部でコナガ、南信地域、中信地域、北信地域のキャベツ栽培ほ場の一部でウワバ類の寄生がみられ、全県各地のほ場のキャベツ、東信地域、南信地域のブロッコリー、東信地域のはくさい栽培ほ場の一部でチョウ目害虫の食害がみられた。

⑤レタスの病害虫

巡回調査では、東信地域の一部で腐敗病、軟腐病、斑点細菌病がみられた。虫害はみられなかった

⑥アスパラガスの病害虫

巡回調査では、北信地域の各地で茎枯病がみられた。

虫害では、全県各地のほ場でアザミウマ類、東信地域の一部ほ場でハダニ類の寄生がみられた。

⑦ねぎの病害虫

巡回調査では、南信地域の一部ほ場で葉枯病、さび病がみられ、増加傾向にある。

虫害では、南信地域及び中信地域の一部でネギアザミウマが目立つところがあった。また、南信地域の一部でネギハモグリバエの寄生がみられた。

⑧きくの病害虫

巡回調査では、南信地域の一部ほ場でアザミウマ類、アブラムシ類の寄生がみられた。

病害の発生はみられなかった。

⑨コナガ（アブラナ科野菜）

フェロモントラップによる誘殺頭数は、小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）では第2半旬から第3半旬にかけて、原村（防除適期決定ほ）では第2半旬に急増し、小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）、長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）では、7月をとおして、平年と比べ誘殺数がかなり多くなった（第1表）。

第1表 コナガのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	7月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	18.8	14.3	18.0	22.3	18.3	23.3
		本年	9	8	12	11	3	0
小諸市山浦 (野菜花き試験場 佐久支場)	レタス	平年	20.1	28.6	29.3	26.6	19.1	18.6
		本年	22	60	75	46	61	31
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	3.3	2.9	4.5	3.2	5.0	5.2
		本年	8	9	5	13	3	7
諏訪郡原村 (防除適期決定ほ)	ブロッコリー	平年	32.7	27.7	34.8	42.8	30.0	34.1
		本年	31	125	20	45	15	12
東筑摩郡朝日村 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	18.0	12.7	8.7	21.0	48.0	17.7
		本年	7	9	18	17	6	17
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	14.3	10.4	12.0	13.1	11.6	13.3
		本年	15	30	30	28	20	26

平年は2012年から2021年までの平均値。朝日村は2019年から2021年までの平均値

⑩オオタバコガ

フェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では第3半旬から第4半旬にかけて、小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）では第2半旬から第4半旬にかけて、須坂市小河原（農業試験場）では第3半旬から第5半旬にかけて増加した（第2表）。

第2表 オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	7月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	4.1	7.6	8.5	14.0	19.4	22.9
		本年	1	6	14	51	38	22
小諸市山浦 (野菜花き試験場 佐久支場)	レタス	平年	10.7	12.7	10.5	11.1	9.3	13.0
		本年	6	30	44	20	15	19
須坂市小河原 (農業試験場)	レタス	平年	1.6	6.9	9.0	11.0	8.0	7.4
		本年	2	4	28	37	22	9

平年は2012年から2021年までの平均値

⑪ヨトウガ類

巡回調査では、キャベツやブロッコリー、はくさい栽培ほ場の一部でチョウ目害虫の被害がみられたが、ヨトウガ類と確定できるものはなかった。

フェロモントラップによる誘殺頭数は、ヨトウガは塩尻市宗賀（野菜花き試験場）で第3半旬から第5半旬にかけて、平年と比べ誘殺数がかかなり多くなったが、須坂市小河原（農業試験場）では第3半旬を除いて誘殺されなかった（第3表）。

ハスモンヨトウは、フェロモントラップへの誘殺数は、概ね平年並みの誘殺数であった（第4表）。

シロイチモジヨトウは、フェロモントラップによる誘殺数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では平年と比べ多い誘殺数で、第6半旬に増加した。長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）では、第1半旬のみ誘殺された（第5表）。

第3表 ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	7月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	2.5	2.7	7.8	12.1	18.5	27.4
		本年	1	4	24	35	35	39
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこし ・水稲	平年	0.6	1.5	1.7	2.5	1.7	0.8
		本年	0	0	2	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

第4表 ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	7月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	14.1	20.8	15.9	22.0	25.0	29.8
		本年	13	25	22	12	13	36
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこし ・水稲	平年	11.0	15.2	11.6	12.7	19.8	37.3
		本年	11	15	9	19	17	19
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	5.9	5.0	4.4	4.4	6.9	5.8
		本年	10	10	4	3	5	7

平年は2012年から2021年までの平均値

第5表 シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	7月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	2.5	1.6	1.7	2.4	2.8	4.2
		本年	1	1	3	3	5	12
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	0.3	0.3	0.0	0.3	0.5	0.5
		本年	2	0	0	0	0	0

平年は2012年から2021年までの平均値

⑫ハモグリバエ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、南信地域の一部地域のねぎで被害がみられた。

⑬アザミウマ類（ネギ、ヒラズナ、ミカンキイロアザミウマなど）

青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺頭数は、上田市菅平（地区発生予察ほ）では第2半旬から第3半旬にかけて、長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）では6月第5半旬から急増し、7月をとおして平年と比べかなり多くなった。

また、富士見町（防除適期決定ほ）では、6月第4半旬から7月第1半旬にかけて急増した。塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）では、全般に誘殺頭数は平年と比べ少なかった（第6表）。

第6表 アザミウマ類の青色粘着トラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分 半旬	7月					
			1	2	3	4	5	6
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	12.8	7.5	5.5	15.0	10.0	9.5
		本年	27	128	108	29	39	55
諏訪郡富士見町 (防除適期決定ほ)	きく	平年	32.8	20.8	37.2	38.8	42.6	48.4
		本年	86	26	43	40	33	39
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	41.6	40.2	108.4	167.8	212.4	80.8
		本年	53	35	31	30	31	65
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	7.5	8.3	20.8	25.0	22.8	23.8
		本年	274	74	81	122	164	147

平年は、富士見町・塩尻市は2017年から2021年までの平均値、上田市・長野市は2018年から2021年までの平均値

⑭アブラムシ類（野菜・花き全般）

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）では第5半旬に、小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）では第5半旬から第6半旬にかけて急増した。

富士見町（地区発生予察ほ）では、第1半旬から第4半旬にかけて多めに推移した。塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）では、第3半旬に急増したが、全般におおむね平年並であった。上田市菅平、長野市上ヶ屋（ともに地区発生予察ほ）では、全般に少なめであった（第7表）。

第7表 アブラムシ類有翅虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	7月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 （野菜花き試験場）	キャベツ・ はくさい	平年	20.8	12.8	18.2	13.6	10.8	8.6
		本年	8	8	24	15	41	8
小諸市山浦 （野菜花き試験場 佐久支場）	レタス	平年	58.4	25.8	36.0	20.2	7.2	8.4
		本年	10	8	7	20	30	66
上田市菅平 （地区発生予察ほ）	はくさい	平年	3.4	3.0	3.8	3.4	2.8	2.8
		本年	2	2	2	1	1	3
富士見町富士見 （地区発生予察ほ）	きく	平年	57.0	44.4	63.2	41.6	43.3	31.9
		本年	117	53	47	76	22	22
塩尻市洗馬 （地区発生予察ほ）	レタス	平年	72.6	80.4	40.9	29.5	16.2	16.4
		本年	56	60	93	17	33	16
長野市上ヶ屋 （地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	16.6	9.2	8.0	5.4	3.4	3.8
		本年	11	2	2	3	5	6

平年は、塩尻市・小諸市・富士見町は2017年から2021年までの平均値、上田市・長野市は2018年から2021年までの平均値

⑮ハダニ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、南信地域、中信地域のすいか、東信地域のアスパラガスほ場の一部で寄生がみられた。